

一写真で見る壱岐南一



★橋本健寿会堂々3位
7月18日に西市民センターで開かれた西区老人クラブ連合会主催「高齢者演芸大会」に初めて出演した橋本健寿会は「鳴子ダンス」で3位となりました。

壱岐南校区自治協議会だより



第192号

*発行者：
壱岐南校区自治協議会
*発行責任者：
吉岡岩輝
〒819-0032
福岡市西区戸切2-18-20
(壱岐南公民館内) ☎811-0336
<http://blog.zaq.ne.jp/ikiminami/>



★いきみなみ文化祭2024★

11月3～4日／壱岐南小学校体育館・戸切人権のまちづくり館
壱岐南公民館

*今年はパリでオリンピックが開催されました。4年ごとに開催されるオリンピックに合わせて「いきみなみ文化祭2024」を行います。

*ステージ発表の部

11月3日(日)／戸切人権のまちづくり館
午前中に少人数サークルの発表を中心にを行います。
11月4日(月)／壱岐南小学校体育館
午前中に、壱岐保育園児のコーラスや子ども会のほか、地域の皆さんの発表も。
午後からは特別公演をお楽しみください。

★特別ゲスト

福岡洲山会演奏「日本民謡の旅」
日本各地の民謡・博多の民謡

*展示発表の部

11月3日(日)～4日(月)／壱岐南公民館と
まち館の一部

*フードドライブ

生活環境委員会と公民館の共催で今年も「家庭で使い切れない未開封の食品を、必要としている団体に寄付する」フードドライブを実施します。

*人権標語展示

文化祭期間中に、人権標語の全応募作を展示します。



昨年4年ぶりに行なった体育祭では、「綱引き」「玉入れ」「大なわとび」「250歳リレー」などの定番メニューに加えて、「防災救急救命訓練」など新しいものもありました。今年も、実行委員会が「どんな体育祭にしようか」と検討しています。

なお、壱岐南校区校区出身の方は「里帰り出場」ができます。ご家族の方はぜひお声かけください。
10月初めには、お楽しみ抽選券つきのプログラムをお届け(自治会加入者に限り)します。みなさんも参加して楽しんでください。
(体育祭実行委員会)



第34回いきみなみ体育祭
壱岐南小学校で開催

☆日時 10月20日(日)
☆会場 壱岐南小学校校庭

あなたには
きつとどれかのたからもの
—新しい人権標語(最優秀作品)が決まりました—
人権尊重推進協議会は理事・運営委員会を9月3日に壱岐南公民館で開き、21日に開催予定の「人権のつどい」や町別人権研修会について協議しました。
町別人権研修会は、10月12月中に全13自治会で行うことを申し合わせました。
また、先ごろから募集していた人権標語とポスターの優秀作品の選定を出席者の投票によって行いました。
ポスターへの応募はゼロでしたが、人権標語には小・中・高・大の各年代から、多くの応募がありました。
その言葉使っているか考えてSNSで伝えるわすツールにも
*大丈夫の居場所をきつとある
*良い言葉あなたのひといい言葉
*みんなが笑顔に みんなで笑顔にいきみなみ
(人権尊重推進協議会)

第15回
緑のカーテンコンクール

15回目となった「緑のカーテンコンクール」の審査会を9月3日に壱岐南公民館で行いました。これには22人の方が応募されました。
審査員5人が、応募者から提出された写真を見て「省エネ度」「美観」「創意工夫」「いやし」の4つの視点からそれぞれ点数をつけます。そして点数の高い作品から金・銀・銅賞を決定しました。

○銀賞

安東 義信さん 壱岐団地南
原 キヨ子さん 野方団地
市丸 英樹さん 壱岐団地南
藤川 拓生さん 壱岐団地南

○銅賞

小川 律子さん 藤ヶ丘
田尻 慶久さん 野方団地
長 節子さん 壱岐団地南
壱岐南公民館
石野寿巳代さん 野方南1区

受賞者は次のとおりです。
そのほかの応募者の方には参加賞を差し上げました。
応募用紙には、「エアコンの使用時間が減った」「ゴーヤがたくさん採れた」「見た目も涼しくなった」などのコメントがあり、楽しんで作っていることがわかりました。
(生活環境委員会)

○金賞
上村 周一さん 野方南3区
池田 知子さん 野方2区
原 勝巳さん 野方団地
鶴田 一美さん 野方南3区

往還往来

これからの主な行事
○9月21日(土)
校区人権のつどい
○10月26日(土)
シニアグラウンドゴルフ大会
○12月1日(日)
避難行動要支援者避難訓練
○12月8日(日)
親善インディアカ大会

これまで台風といえ、1～2日間の強風と大雨で川が氾濫したり浸水を起こしたりして去つていく、というのが普通でしたが、台風10号は全然違いました。日本から南に2400キロメートル離れたマリアナ諸島で発生したのは8月22日でした。それからノロノロと北上したり停滞したりして、福岡を襲ったのは29日。なんと1週間もかかっており、昔の台風とは大違いでした。遠く離れているのに雷が轟き、竜巻や土砂崩れなど豪雨による災害が起きました。また、航空機や新幹線、在来線、船も大きな影響を受け、文字どおり孤島や陸の孤島になったところもあったようです。▼気象台も「進路を予報するのは難しい」ということで思わぬ軌跡を描いています。太平洋高気圧の張り出しや、海面の異常な上昇なども指摘されています。もう日本は亜熱帯になっています、という報道もありました。▼国連のグテーレス事務局長が言ったように、地球はもう温暖化ではなく沸騰化に向かっているのでしょうか。
(紫苑)

あおぞら

社協
ニュース
No.164

第1回理事会によせて

壱岐南校区がグッドコミュニティ「住みよい地域」として最高の評価を受けたことを伝える新聞記事を読んでいますか？

それは昭和61年6月24日の西日本新聞の記事でした。

当時、全国の都市部を中心に地域社会の急速な変貌に危機感を抱く人は

あるべき地域モデルを求めていました。そうした状況のなかで九州大学の鈴木広教授を中心とした社会学研究室による大規模な住民意識調査が行われました。

東京・神戸・芦屋・福岡・那覇の5都市11地点で実施した分析の結果、壱岐南校区がグッドコミュニティ（住みよい地域）として最高の評価をされたというものです。

なぜこのことを思い出したかというと、いわゆる「コロナ禍」期間中に従来の社会慣習が急変しています。葬式が「家族葬」中心になり、その結果親戚のつきあいの範囲が限定・変更されています。

従来、家族・親族を中心とした血縁による人間関係が人生において大きな意味をもっていました。が、ずいぶん違ったもの

に変わりつつあるということです。血縁の内実が小さくなり、極論すれば家族だけに限定された暮らし方になっていきます。

各人、特に高齢者の「ふるさと」との関係が希薄になった、あるいは切れてしまったと嘆く声が聞かれるようになっています。

お盆に帰郷した後期高齢者の友人が嘆いていました。

「ふるさと」の納骨堂に参ったけれど、受け付けをはじめ参拝者のなかにも見知った人はひとりもいなかった。父母をはじめ親しかった親戚の人、集落の知人もみんな納骨堂に収まっている。自宅あとは更地になり、親族・知人の仏壇に参ろうにも、日頃の付き合いのない子どもに代替わりしていてコロナ禍で完全に切れてしまった「ふるさと」は思い出の中にしか存在しなくなったというのでしょうか。

というところは、いま住んでいるところつまり壱岐南校区で、隣近所とのお

つきあいははじめ地域の人間関係を大切にしながら高齢期を生き抜く決心が必要だということだ。

タイトルの記事から38年がすぎましたが、今の校区のみなさんも「壱岐南校区はグッドコミュニティ」だと思っておられるのだろうか、確認したい気持ちになります。

野方の上の方に住んでいる私は、室見川までの散歩を楽しんでいます。川の流れる確認し、室見川河畔公園の自然をゆっくり満喫しています。

そのあと、壱岐南小学校方面へ歩きながら遠くの飯盛山がだんだん大きくなってくるのを感じます。

昔の人たちもこの美しい山を拝んだのだろうな、と心の中でつぶやき、「壱岐南っていいところだなあ」と思ったりしています。

【理事会報告】

7月30日に本年度第1回目の理事会を開催しました。内容は、7月までの事業の実施状況の報告で、すべて了承されました。

連日35度を超える酷暑で、熱中症アラートが発表されているなかでした。ご出席いただき、本当にありがとうございます。社会福祉協議会ではすべての事業を「住みよい地域」を願って企画実施していますが、常に検証が必要だと考えています。

民生委員の皆さんに期待すること



社会福祉協議会
は5月17日
日壱岐南
公民館で
民生委員
児童委員
と社協事務局員と
の懇談会を行いました。

懇談会の参加者は、華林堂病院をはじめ介護事業所「マナハウス」「杜の樹」「かりん」や、西区役所福祉課と子育て支援課の校区担当職員、西区社協職員、そして公民館長の総勢28人でした。

今回はマナハウス2番館の管理者大坂健史さんに「地域事業所として民生委員の皆さんに期待すること」と題してお話いただきました。

校区の高齢化率や、世帯数およびその現状についての考察のあと「民生委員の皆さんに期待すること」として、次のような提案を頂きました。

民生委員の活動は地域の高齢者のSOSをキャッチすることだが、それを一人で担おうとしていませんか？

校区には高齢者の医療福祉のスペシャリストがたくさんおり、これまで、事業所と地域の顔の見える関係を作ってきた。これからは心強い仲間として活動できると思う。

提案を受けてグループ討議を行い、情報交換をするなどこれまでとは一味違う充実した懇談会となりました。

●あなたも賛助会員に！●

社会福祉協議会では高齢者も若者も、子どもも障がいをもっている人も、みんな快適に暮らせる「あたたかいまち」を住民の皆さんとつくりたいと考えています。

活動資金の一助となる「賛助会員」を募集しています。

会費は一口1,000円です。

会費のうち50%は校区社協の、残りの50%は西区社協の福祉事業費として活用します。

趣旨に賛同される方は、公民館窓口にお申し込みください。

西区社会福祉協議会 賛助会員加入のお礼

(令和6年5月1日～8月5日)

個人

上原恵美子・徳島 洋子
東 靖子・新里 幸吉
松尾龍三郎・大町田浩一
ありがとうございました。

●事務局ボランティア募集

社会福祉協議会では、地域の社会福祉に興味のある方を募集しています。

どんなことをするの？
と思われた方、ぜひご連絡ください。

お待ちしています。

【連絡先】 新里
0800-2709-0837

編集後記

新聞に「秋はまだ来ない」9月も猛暑とありました。小学生のころは30度を超えると「きょうは気温が30度以上でした」などと絵日記に書いたものです。

それでも公園から「ツクツクホーシ」の音が聞こえてきたりします。明けの夜はなにより、終わらない夏がなにより、ことを祈って秋を待ちましょう。ご自愛ください。

子どものひろば

●5月19日にドッジボール大会を行いました。



ドッジボールの校区球技大会では、チーム全員が楽しめました。心をつなぐことができました。とても楽しかったです。西区大会でもチームの良かたを伝えたいです。

Amein代表 飯田 望

ドッジボール大会を通してみんなが協力して試合に勝つことでチームの仲がよくなりました。良かったです。

男子の部は西区大会がなく、やさしいですが女子の部は西区大会で、月曜日のようにサボって、女子の部の心えんを、がんばります。

小金丸 智花

ドッジボール大会を終えて試合は負けましたけど、POPのチームとして楽しく試合を終えることができました。ほくは、ドッジボール大会では、初めてだったけれど、全員で力を合わせて一つの目標に向かってがんばるということもとてもいい経験でした。今回の球技大会では、保護者の方々の支えがあってチャップンとしての仕事を果たすことができました。ありがとうございました。

POP代表 増家 海理

ドッジボール大会が終わり、試合は負けましたけど、あきあきと最後まで戦えた良かったです。去年、市大会まで行けたので今年も市の会まで行けたのでこれからたくさん練習をしてがんばりたいです。



ベストブラスター代表 大平 成器